

がマーケティングの「複眼思考」や「デザイン思考」につながることを説明し、参加者は理解を深めた。

懇親会では参加者が講師を囲み、それぞれの研究について意見を交わすなど、一層の親睦を図った。

(イノベーション推進部 水田 晴久)

### 第1回国際委員会

6月8日(木)、国際委員会は平成29年度1回目の委員会を開催、委員長の大島副会長をはじめ43名が参加した。

冒頭挨拶で大島委員長は、「中経連では6年ぶりに国際委員会を立ち上げることとなった。この背景には、外的には英国のEU離脱や米国の新政権発足に象徴される保護主義の台頭、中国経済成長の陰りとそれを補完しようとする覇権主義の台頭などの要因、内的には世界のIoTやAI技術の凄まじい進展から新たなビジネスモデルが次々と誕生している要因がある。



わが国のものづくりの中心地として発展してきた中部圏が、これらの動きに取り残されないためには、世界状況を学び、イノベーション力を強化する必要がある。そのために、本委員会ではタイムリーなグローバル情報を提供するとともに、機会とリスクに関する正しい見方による情報の共有も目指したい。加えて、中経連独自の国際活動を実施し、中経連会員、さらには中部圏にとって、具体的な成果が出せる活動をしていきたい」と述べた。

続いて、事務局より本委員会の活動内容について説明を行った。平成29年度は、①「グローバル情勢に関する情報の収集、調査報告」として、特定地域とテーマを持つ講演会の開催と「世界経済見通しとデータベース」の発信。②「地域のグローバル化、グローバル競争力強化に資する環境整備」として、「海外からの投資先としての魅力向上」と「地域産品等の海外輸出・販路開拓拡大」に向けた提案を2本柱とし、②についてはアンケートをとり、今後意見交換を行う予定である。

次に、(株)三井物産戦略研究所 北米・中南米室長の山田良平氏を講師に迎え、「政権発足100日後の米国政治経済概況」をテーマにご講演いただいた(本誌8月号に講演要旨を掲載予定)。

(国際部 平山 りえ)

## 中経連 ダイジェスト

### 栗原常務がベルギー3地域政府を訪問

5月14日(日)～18日(木)、栗原中経連常務は大村愛知県知事等とともに、ベルギーのブリュッセルを訪れ、ブリュッセル首都圏政府、フランダース地域政府、ワロン地域政府の各首相と懇談した。

今回のミッションは、愛知県とベルギーの3地域政府との「友好交流・相互協力に関する覚書」をそれぞれ結ぶことを主な目的として実施された。



フランダース地域政府庁舎前にて



昨年、日本とベルギーは友好150周年を迎え、10月にフィリップ国王夫妻ご臨席のもと、愛知県で「ベルギー王国への日本車出荷一千万台記念式典」を開催したことが今回の覚書締結に結びついた。

ベルギーには中部5県からの進出企業約40社が活発に事業展開を行っており、中部圏を含む日本との経済協力が重視されている。今回の覚書締結によって、愛知県を含む中部圏とベルギーとの経済・文化・人的な交流が深まるとともに、一層の関係強化が期待される。

(国際部 平山 りえ)

## 明日の中部を創る21世紀協議会 総会

5月19日(金)、「明日の中部を創る21世紀協議会」(会長:豊田中経連会長)は、平成29年度の総会を名古屋市市内にて開催した。

総会では、平成28年度事業報告および収支決算、平成29年度事業計画および収支予算について報告するとともに、理事・監事選任(案)を審議し、原案どおり承認された。

本協議会は今年度、イノベーション力の強化、産業のグローバル競争力・ネットワークの強化、観光の振興等6つを重点領域として、中部圏がわが国の新たな成長を担うリーディング地域となることを目指した活動を展開していく。

(総務部 伊藤 康隆)

## 第9回中部コーディネータ 研究フォーラム

5月31日(水)、中経連は「第9回中部コーディネータ研究フォーラム」を開催し、中部5県のよろず支援拠点コーディネータ、支援機関・大学のコーディネータ、中堅・中小企業支援に関する有識者・研究者など19名が参加した。

本フォーラムは、中部圏各地で中堅・中小企業支援をしているコーディネータのネットワーク強化と企業支援力の一層の向上をねらい2015年3月に設立されたものである。



ご講演いただいた坂本光司氏

今回は、法政大学大学院政策創造研究科教授の坂本光司氏から、「経営者・経営幹部の手帳50」と題してご講演いただいた。坂本氏は、これまで8,000社以上の企業を実際に訪問し見聞きしたことを踏まえて「いい会社」を研究されており、『日本でいちばん大切にしたい会社』など多くの著書を上梓、「人を大切にする経営学会」を主宰されている。企業経営の目的・使命は「業績・勝ち負け」ではなく「企業に関わる全ての人々を幸せにすること」である、という基本的な考え方を示し、「いい経営」を実践している企業の実例も交え、企業経営者の心構えについて解説された。

参加者からは、「今支援している企業へのアドバ



講演内容に対してコメントする参加者たち

イスに役立ちそう」「経営者と社員・家族の絆の話  
を聞いて胸が熱くなった」「どうすれば人を大切に  
する会社になれるのか、その方法をもっと聞いて  
みたい」などのコメントを多数いただいた。

次回は8月に開催する予定である。

(産業振興部 佐々木 彰一)

## 中部国際空港利用促進協議会 理事会・賛助会員大会



6月1日(木)、「中部国際空港利用促進協議会」  
(代表理事:豊田中経連会長、山本名古屋商工  
会議所会頭)は、平成29年度の理事会および賛  
助会員大会を名古屋市にて開催した。

理事会冒頭、豊田代表理事が挨拶を行い、「成  
田・羽田空港で乗り換えることなく効率良く中部  
圏から欧米各地へ移動するには、日系航空会社  
の長距離路線開設による『フライ・セントレア』の  
さらなる推進が欠かせない。就航実現に向けて、  
地域一丸となって力強く後押しをする必要があ  
る。貨物の増量に向けては、『フライ・セントレア・  
カーゴ』を一層推進し、成田・関西空港経由とな  
ってしまっている貨物を、効率の良い中部からの直  
行便にできるよう、貨物専用便の増便や誘致によ  
ってネットワークの拡充を図る必要がある。中部経  
済の発展には、空港機能のさらなる強化が重要。  
行政、空港会社、経済界が、一層の連携を図り、  
セントレアの利用促進はもちろん、二本目滑走路

の実現に一体となって取り組んでいきたい」と述  
べた。その後、平成28年度事業報告・収支決算、  
平成29年度事業計画・収支予算について審議し、  
原案どおり承認された。

引き続き、賛助会員大会を行い、賛助会員、関係  
行政機関等から約200名が参加した。冒頭、山本  
代表理事からの挨拶の後、事務局より平成29年  
度事業計画を説明し、賛助会員に活動に対しての  
一層の支援と協力を求めた。

賛助会員大会終了後、国土交通省大臣官房参  
事官の村田有氏より「最近の航空行政の取組み  
とセントレアへの期待」と題してご講演いただき、  
農林水産品等地域産品の輸出促進に係る政府の  
施策、関西・仙台空港での取組みについての説  
明がなされた。

(社会基盤部 和田 耕一郎)

## エア・カナダ ルージュ バンクーバー線就航記念式典



6月2日(金)、エア・カナダのレジャー路線ブラ  
ンド「エア・カナダ ルージュ」は、中部-バンクー  
バー線(週最大4便 6月~10月の期間運航)を  
新規就航し、当日の初便出発にあわせて記念式  
典が開催された。本路線は12年ぶりの就航とな  
り、カナダ国内はもとより米国西海岸へのアクセス  
向上も期待されている(本誌6ページ参照)。

(社会基盤部 和田 耕一郎)